

平成17年第2回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成17年8月22日
大仙市長 栗林次美

本日、平成17年第2回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、専決処分報告1件、単行案8件、補正予算12件、決算15件の合計36件のほか、人権擁護委員の候補者の推薦に係る人事案件について、準備が整い次第、追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

なお、この場をお借りいたしまして、本年度の各部局毎の主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告させていただきます。

始めに総務部関係について申し上げます。

現在作業を進めております行政改革大綱の策定につきましては、市民の意見を取り入れるためワークショップへの参加を一般公募いたしましたところ、11名の参加申し込みがあり、8月20日に第1回目の作業を始めたところがあります。今後、10月まで4回の会議を開催し、行政改革に関するご提案をいただく予定であります。

職員採用試験につきましては、一般事務及び建築・土木合わせて20名の採用予定に対し、187名の申し込みがあり、第1次試験を9月4日、実施することとしております。

次に企画部関係についてであります。

大仙市のマスタープランとなります総合計画につきましては、年度内の策定を目指し作業を進めておりますが、より市民の意見を計画に反映させるためワークショップの開催や専門委員の委嘱等を予定しており、今次定例会に係る予算の補正をお願いしております。

真木ダム問題につきましては、県と大仙市による「真木ダム代替案検討プロジェクトチーム」の第1回目の会議が7月6日に開催されました。会議では、治水対策、水道水源の確保、維持水量の3つの検討班を組織し作業を進めることとし、各班毎の検討会が実施されております。なお、県より11月下旬をめぐりに代替案の素案をまとめ、住民説明会を経て来年1月には代替案を取りまと

めるスケジュール案が示されております。

仙北組合総合病院の改築につきましては、早期改築推進会議の会員が市町村合併に伴い激減することから、福祉団体や商工団体、女性団体等民間団体への加入を促し、官民一体となった運動に転換してまいりたいと考えており、現在作業を進めております。なお、本年度の仙北組合総合病院早期改築推進会議の総会につきましては、9月9日の開催を予定しております。

地域協議会につきましては、7月21日の仙北地域を皮切りに、8月5日の大曲地域まで8地域で第1回目の会議を順次開催いたしました。会議では委員への委嘱状交付、会長・副会長の選任の後、「地域協議会の役割」や「大仙市総合計画の策定」、「地域自治区に係る主要事業」等について説明しご意見を伺っております。今後は、各総合支所が中心となり、地域に係る課題を取り上げながら、「地域の声」が市長に届く仕組みが出来るよう、活発な会議の開催をお願いしたところであります。

男女共同参画事業につきましては、大曲地域の農業者を対象とした講演会を7月29日に、また、第1回男女共同参画審議会を8月4日に開催するとともに、12月を目途に基本計画及び行動計画を合わせた「大仙市男女共同参画プラン」策定の作業を進めております。

第62回国民体育大会秋田わか杉国体につきましては、6月30日に、市及び市議会、体育協会、実施競技団体並びに各種市民団体で構成する大仙市実行委員会が設立され、具体的な準備作業に入ったところであります。国体啓発のための看板・のぼり旗の設置、国体日より第1号の全戸配布や、国体への市民参加を推進するため、市としての「オリジナルキャッチコピー募集」や「スポーツイベントボランティア募集」を行っております。併せて、9月3日・4日、本県で開催されます「第32回東北総合体育大会」の軟式野球やなぎなた競技を国体本番のリハーサル大会と位置づけ、その準備を進めております。

また、美郷町が主会場となります自転車競技（ロードレース）につきましても、美郷町との連携を図るべく協議を進めております。

次に市民生活部関係についてであります。

8月16日、午前11時46分に発生した、宮城県沖を震源とする地震への

対応につきましては、発生後直ちに「災害警戒対策室」を設置し、各総合支所に対して被害確認と状況調査を指示するとともに情報収集を行いました。また、広域消防本部、大仙警察署においても災害対策体制をとり、互いに連絡を取りながら被害確認をいたしました。幸いにも被害は街路灯の軽微な破損が1件だけであり、怪我人など人的被害はありませんでした。

合併後初めての災害対応でありましたが、災害対策マニュアル（災害対策本部規定等）が機能していることが確認されました。

消防につきましては、7月8日、秋田県消防協会主催の「秋田県消防大会」が大曲市民会館で開催され、7月24日には、秋田県消防協会大仙市仙北郡支部消防訓練大会が雄物川河川敷で開催されております。

消防施設の整備につきましては、中仙地域及び南外地域の防火水槽の整備を進めており、残る大曲、西仙北、協和、仙北地域につきましても随時発注する予定であります。また、小型動力ポンプ付き積載車について、仙北地域の4台及び協和地域の1台を発注済みであり、既存の設備と合わせて消防力の強化、整備充実に努めております。

防災につきましては、神奈川県座間市との「災害時における相互応援に関する協定」を去る7月4日、市議会議長、広域消防長、市消防団長等の立ち会いのもと、座間市役所において本調印を行いました。その際、座間市長より「給水車」の寄贈申し入れがあり、7月18日の新市誕生記念式典終了後に給水車贈呈式を行い、8月2日に関係職員が災害時の応援物資輸送ルートの確認を兼ねて、座間市に出向いて受け取ってきております。

青少年健全育成につきましては、「青少年育成大仙市民会議」の年度内設立に向けて準備委員会を設け、活動内容、運営形態などについて協議を重ねております。

国民健康保険事業につきましては、10月1日からの被保険者証のカード化に向けて準備を進めております。国民健康保険者証は、現在、原則1世帯に1枚とされておりますが、カード化により個人毎に1枚の交付となり利便性が向上することとなります。

なお、旧8市町村を合計しました平成16年度国民健康保険事業収支決算見込みは、5億67万3千円の黒字であります。前年度繰越金7億6,744

万2千円、財政調整基金繰入額2億9,420万1千円を差し引きしますと、実質単年度収支では5億6,097万円の赤字決算となる見込みであります。

アスベスト問題につきましては、学校施設、公共施設等の調査を担当部署に指示したところであり、調査がまとまり次第公表いたしたいと存じます。また、大曲仙北広域市町村圏組合及び大仙美郷環境事業組合に対しましても管理者として調査を指示しております。

市立大曲病院事業につきましては、本年の4月から7月までの入院患者数は、一般精神病棟が延べ8,214名で病床利用率は96.2%、痴呆病棟が延べ5,240名で病床利用率は85.9%となっており、入院全体では延べ13,454名、病床利用率は91.9%で、前年度同期と比較して入院延べ患者数で281名の減、病床利用率では2.0ポイントの減となっております。

また、外来患者数は、延べ4,209名で、前年同期と比較して213名の増であり、診療日1日当たりでは52.0名で、3.3名の増となっております。

大仙美郷環境事業組合の事業であります、一般廃棄物最終処分場建設につきましては、予定地について去る7月11日に地権者と仮契約を結び、7月13日の組合議会において議決、7月14日に登記が終了し、現在、基本設計に着手しているところであります。また、し尿処理場の整備工事につきましても、実施設計がほぼ終了し、平成19年3月26日の竣工を目指し、8月18日から工事に取り掛かっております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

合併に伴う各福祉団体の統合再編につきましては、7月1日に「大仙市身体障害者福祉協会」、8月1日に「大仙市母子寡婦福祉連合会」、8月5日には「大仙市手をつなぐ育成会」がそれぞれ設立され活動を開始しております。なお、「大仙市老人クラブ連合会」につきましては、10月1日設立の予定であります。

敬老会につきましては、昨年度までと同様に、8地域26地区において9月3日から9月22日にかけて実施いたします。

特別養護老人ホームにつきましては、西仙北地域に社会福祉法人柏仁会「あ

りすの街」と、社会福祉法人ウォームハートの2つの施設が、いずれも8月1日に開設しております。入所定員は2施設ともに30名で、それぞれ居住環境に配慮されたユニット型個室を採用しているほか、短期入所やデイサービス事業を展開する機能を有しており、これにより入所待機者の緩和が図られるとともに、生活介護、通所介護など地域の介護需要にも応えてくれるものと期待しております。

保育園建設事業につきましては、平成16年度からの2カ年事業として建設を進めてまいりました3つの保育園の本体工事が6月に完成し、仙北南保育園、協和保育園は7月から、中仙西保育園は8月からそれぞれ新園舎で保育を開始しております。

すこやか子育て支援事業につきましては、県では事業の見直しを行い8月1日から施行されており、市でも規則等を同様の内容に改正し実施しております。

新制度は、新たに一定の所得制限を設けましたが、平成17年4月2日以降生まれの1歳から6歳までの幼児に対し保育料の半額を助成する等、助成対象者を大幅に拡大する内容となっております。

保健事業につきましては、一部地域で実施していた前立腺がん検診、成人歯周疾患検診及び乳幼児健診の10カ月健診を本年度から全市に拡大し実施しております。

母子保健につきましては、本年度から妊婦一般健康診査を6回増やし13回を公費負担とし、全期間の定期妊婦健診を無料で実施しているほか、パパママ教室の拡充など安心して妊娠、出産できるための環境づくりに努めております。なお、日本脳炎ワクチン接種につきましては、5月30日付け厚生労働省の通知により医師会の指導のもと、当分の間予防接種を差し控えることとしております。

また、65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種につきましては、接種希望者も多く効果が高いことから、10月15日から医療機関で個別に接種していただき、1人1回2,000円を補助することとしております。

次に農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、6月までの気温は平年を上回っておりましたが、7月

は平年を下回る日が続き、特に7月21日には秋田気象台から「低温に関する気象情報第1号」が発表されております。その後、7月末から一転して好天に恵まれたことから、平年並みの8月3日に収穫期を迎え、順調に生育しているところでもあります。

青果物や花きにつきましては、順調に出荷され、価格についても盆需要もあり高値に推移しておりますが、高温障害により葉物やトルコギキョウ等の洋花に一部品質低下も見られます。なお、秋田県が推奨しております「りんどう」につきましては、転作田を利用し徐々に作付が増加し、大仙市内では、本年度、47a、平成18年度は109aの面積が確保されております。価格面についても高値で取り引きされておられ今後とも期待される作物であります。

畜産につきましては、6月29日に「第1回大仙市畜産共進会」が大仙市営笹倉放牧場で開催されました。肉用牛80頭、乳用牛6頭が出陳され、多数の畜産関係者が見守る中、審査が行われ、無事終了いたしました。

6月27日から28日の梅雨前線豪雨による災害関係につきましては、西仙北地域で10カ所の農業施設被害が、協和地域では1カ所、南外地域では3カ所の林道施設被害が発生し、その内、農業施設被害の2カ所及び林道施設被害の3カ所が公共災として認定されております。

農業集落排水事業につきましては、本年度実施の8地区の内7地区で発注済であり、残りの1地区についても早急に発注する予定であります。

雇用対策につきましては、職場研修事業を大曲雇用開発協会とともに、7月27日から8月3日までの8日間にわたり、20社22事業所のご協力を得て実施し、161名の高校生の参加を得ております。

商工業振興につきましては、合併後の制度周知の必要から、先の広報に補助制度を掲載し、商店街や新規開店者、地域商店に対する支援制度の積極的な活用を呼びかけております。

中心市街地活性化対策につきましては、株式会社TMO大曲が、全国花火競技大会の開催にあわせ、丸子橋周辺において合併記念の大仙物産市の開催を予定しております。

企業誘致対策につきましては、大曲地域において昨年1社の企業進出受入が決定しており、操業開始が10月に予定されておりますので、適用要件を確認

し、空き工場等再利用助成金などの優遇制度を適用してまいります。

また、市内の工場団地の分譲につきましては、東京都において開催されました「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」に参加しPR活動を行ってまいりました。今後も秋田県企業誘致推進協議会の活動に積極的に参加し、工場団地の分譲促進を図ってまいります。

全国花火競技大会につきましては、8月27日に国土交通省や秋田県警、県地域振興局、JR、道路公団、羽後交通、広域消防などの協力のもとで開催予定となっておりますが、総合支所職員を動員し、新体制で交通渋滞緩和、駐車場対策に取り組んでいるところであります。

8月6日・7日に行われた「夏まつり大曲」、8月15日に行われた「彩夏せんぼく」及び「ふるさと西仙祭り」、8月16日に行われた「中仙ドンパン祭り」等の夏まつりには、多くの市民の参加をいただき、盛会裏に終了することができました。地域の特色のある行事、イベントにつきましては、今後とも大切にしていかなければならないものと考えております。

次に建設部関係についてであります。

大曲駅と国道13号大曲バイパスを直結する都市計画道路「駅東線」街路整備事業につきましては、本年度取得予定面積の24%、建物移転補償1戸について契約が完了しております。道路築造工事については、9月上旬の発注に向け準備を進めております。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業、都市計画道路「駅東線」と関連し整備を進めております、都市計画道路「花園線」と市道「駅裏7号線」の道路築造工事につきましては、9月上旬の発注に向け準備を進めております。なお、大曲駅利用者のサービス向上を図るため、大曲駅東口広場への歩行者用シェルター施設を設置いたしたく、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

神岡・中仙・協和地域で実施しております、まちづくり交付金事業につきましては、各地域で計画されている施設について、事業の位置づけ、利用予測、運用形態、地域バランス、維持管理などの面から検討を重ね、見直しについて方向づけをしたところであります。今後、具体的な計画の変更に向け、国などと調整を図ってまいりたいと考えております。

なお、計画の再検討を要するため当初予算計上を見送っておりました、神岡地域における中央公園内の屋内多目的施設の建設、協和地域における協和市民体育館の建設などにつきまして、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

都市公園事業につきましては、協和地域のカントリーパーク整備事業の東屋などの建築工事について8月下旬の発注を、グラウンドゴルフ場用地の取得につきましては、今秋の契約締結に向け作業を進めております。

また、仙北地域の仙北ふれあい公園整備事業につきましては、体育館建設用地の取得について、今秋の契約締結に向け交渉を進めております。なお、仙北球場が平成19年秋田わか杉国体の軟式野球会場とされていることから、隣接する駐車場の整備について、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

道路整備につきましては各総合支所毎に主な事業を申し上げますと、大曲地域の市単独事業の市道改良・舗装、側溝改良合わせて43路線については、7月末現在の発注済が8路線で、発注率13%となっており、未発注分35路線については測量調査設計等の発注準備を進めております。

神岡地域の市道蒲家下1号線道路改良工事については、6月中旬に発注を終え、7月末現在において約60%の進捗率となっております。また、舗装工事につきましては、改良工事の完了後に発注予定であります。

西仙北地域の市道黒森山線道路改良工事第1工区については、7月中旬に発注済であります。また、第2工区については9月中旬の発注をめどに準備を進めております。市道杉沢2号線舗装工事については、7月下旬に発注を終え、7月末現在で約90%の進捗率となっております。また、市道北野目戸川1号線道路改良工事及び市道杉山田江原田乙越線道路改良工事については、8月下旬の発注予定となっております。

中仙地域の市道石持板屋線改良舗装工事及び中仙4号線測量調査業務については、8月上旬に発注済で、10%の進捗率となっております。また、市道17号線調査測量業務を発注済であり、市道鳥越線道路改良工事は、早期発注に向け準備を進めているところであります。

協和地域の市単独事業市道改良、舗装工事併せて10路線については、7月末現在の発注済路線は3路線で、発注率は約19%となっております。残り

7路線につきましては9月下旬発注をめどに準備を進めております。

南外地域の市道南外1号線及び南外19号線道路改良工事については、測量調査設計業務を7月下旬に発注済みであり、工事については9月下旬発注をめどに準備作業を進めております。

仙北地域の市道仙北45号線道路改良工事については、測量調査設計業務を発注済みであり、橋梁工事を9月上旬に、道路改良工事は9月下旬の発注をめどに準備作業を進めております。

太田地域の市道横沢バチ沢線災害防除工事については、測量調査設計業務を発注済みで、8月下旬に工事を発注する予定であります。

公共下水道事業につきましては、本年度計画延長10.4kmのうち、9.8kmを発注済みであり、施工地域は大曲・神岡・西仙北・中仙の4地域であります。南外処理区につきましては、平成21年度の一部供用開始を目指し、管渠実施設計業務等が発注済みであります。

なお、平成16年度末の公共下水道事業の整備済面積は1,032haで整備率45.9%、汚水管渠は延長179km、普及率は26.7%であり、水洗化戸数は5,954戸、水洗化率は63.5%となっております。引き続き説明会や家庭訪問を通じ加入促進に努めてまいります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転補償につきましては、本年度移転対象物件51戸中14戸、借家人補償は35店舗中16店舗の権利者と契約済みであり、残りの権利者とは引き続き交渉中であります。

工事関係につきましては、建物移転の交渉が整い次第、8月下旬から順次水路工事や整地工事、区画道路工事に着手してまいります。

また、住宅市街地総合整備事業につきましては、都市再生住宅に子育て支援及び高齢者生活相談所の機能を合築するために、整備計画の変更を国土交通省に提出しております。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道13号大曲バイパス4車線化事業につきましては、東川地内より和合地内の大曲西道路との接続点までの舗装工事を実施しており、花館地内改良工事については6月下旬に発注、花館高架橋下部工工事については9月発注に向け

準備を進めて早期完成に向け順調に推移していると伺っております。

また、国道13号神宮寺バイパス事業の大浦地内及び大坪地内の道路改良工事については発注を終え、水尺橋架け替え工事に伴う土買川左岸取付道路工事については9月発注予定と伺っております。

大曲西道路事業の和合工区、伊岡明通工区は舗装工事まで、飯田工区は下層路盤までの発注内容となっており、18年度中の供用開始に向け順調に推移していると伺っております。

また、国道105号県単道路改築工事については、四ツ屋地内農業試験場前からJA四ツ屋出張所交差点間の改築工事を発注済で、早期完成に向け施工中と伺っております。

次に水道局関係についてであります。

平成5年度から継続事業として実施しております、老朽管更新工事につきましては、花館地区萩台、唐関、西台、下大戸、上大戸下川原地内、合わせて1,979mを5月上旬に発注済であり、今年度で事業完了の予定であります。

配水管拡張工事につきましては、上水道加入の要望がありました、花館中野地内、福田町地内延長2,117mと、継続事業の成沢地内、川目地内延長437mについて、それぞれ7月中旬に発注済であります。

浄水場等施設整備につきましては、渇水期の水道水の安定供給を図るため、宇津台浄水場に容量3,000m³のステンレス製配水池の新設工事を7月下旬に発注済であります。

南外地域の簡易水道事業につきましては、釜坂、荒又地内の配水管布設工事と増圧ポンプ場建設工事を8月19日に発注済であり、滝、中野地内の配水管布設工事、桑台、外山の増圧ポンプ場建設工事も9月中旬に発注を予定しており5カ年計画で進めてまいりました事業も本年度で完了の予定であります。

次に、教育委員会関係についてであります。

教職員への公用パソコンの配備につきましては、9月末日まで設置するよう作業を進めております。

児童生徒の国際交流につきましては、大仙市内中学生21名が夏休みを利用

して、オーストラリアで農場体験やホームステイなど貴重な体験をし、8月4日に全員無事帰国しております。

また、大仙市に新しい外国語指導助手（ALT）3名と国際交流員（CIR）1名が前任者と交替し着任しております。

生涯学習推進につきましては、「大仙市生涯学習推進計画」策定に向けての市民意向調査を実施する予定であります。

社会教育施設の整備につきましては、鶯野分館建設工事、小杉山地区生涯学習センター改築工事を今月中に発注する予定であります。

成人式につきましては、対象者を満20歳を超えた方に統一した関係で、本年度は神岡、南外、太田の3地域のみで開催となりましたが、8月15日に参加者の自主的な運営により実施されております。

スポーツ関係につきましては、「第14回^{かいせいき}魁星旗争奪全県550歳野球大会」が8月6日から南外地域の4球場で開催され、全県から選抜された24チームによる熱戦が繰り広げられました。

7月2日・3日には太田奥羽グラウンド・ゴルフ場において「第17回東北ブロックグラウンド・ゴルフ大会」が開催され、約1,100名の参加者が日頃の練習の成果を発揮しております。

8月14日には、太田球場で大仙市誕生記念として「イースタンリーグ公式戦」が行われました。

また、市立中仙中学校女子バスケットボール部が「第35回東北中学校バスケットボール大会」で見事準優勝を成し遂げ、全国大会に出場することになりました。健闘を期待しているところであります。

最後に、財政状況につきまして申し上げます。

大仙市として初めての決算であります平成16年度決算は、旧8市町村がこれまで経験したことがないほど悪い財政状況であると認識しております。

經常収支比率は、98.4%であり、財政の弾力性がほとんど失われ、財政が硬直化しております。

經常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使われるもので、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の經常経費に、市税、

地方交付税、地方譲与税を中心とする経常的な収入たる一般財源がどの程度充当されているかをみるもので、一般的には、都市部においては、75%程度が妥当とされており98.4%は異常に高い数値であります。

これは、逆に言いますと、自由に使える財源が経常的な収入額全体の1.6%、平成16年度決算では、僅か4億7,662万1千円しか無く大変異常な事態であり、これを解消することが喫緊の課題であります。

このため、平成18年度以降の財政運営において、歳出全般について、抜本的な削減に積極的に取り組んでまいらなければならないと考えております。

人件費につきましては、退職者数に対する採用者数を抑制し職員の削減を行い、適正とされる類似団体の職員数に近づけてまいります。また、事務事業や組織の整理、合理化といった見直しによる縮減は申すまでもなく、社会福祉施設等の法人化への移行や指定管理者制度等を活用した業務の民間委託等につきましては、出来るものから早期に実施してまいりたいと存じます。

各種補助負担金につきましても、大仙市としての統一した考えのもと、来年度予算では見直しを図る必要があります。

また、一般会計、特別会計及び企業会計の市債残高見込みは、平成16年度末で1,035億6,201万3千円となっております。今年度中の起債の増減は、起債額が112億4,500万円、償還額が73億4,926万円と見込んでおり、平成17年度末では、平成16年度末に対し38億9,574万円増の1,074億5,775万3千円と見込まれております。市債残高の増加は、将来の公債費の負担増につながります。今年度の市債の償還額は、約73億5,000万円ではありますが、この額は、大仙市の市税全体の収入額とほぼ同額であり、これ以上の市債の借入れは、今後の償還において、その財源調達がかなり難しいものとなりますので、今後は慎重な対応が必要となります。

今後の財政見直しにつきましては、大仙市はもともと財政基盤が脆弱な市町村が合併したものであり、財政運営は交付税等の依存財源に頼っております。国の三位一体改革では、国庫補助負担金の削減と税源移譲及び地方交付税制度の見直しが掲げられており、制度の過渡期におきましては、市の財政にもかなりの影響があると思っておりますので、歳出構造の抜本的な改革を行い贅肉を切り捨

てスリム化を図る必要があると考えております。

しかしながら、所信表明でも申し上げましたが、地域の特色、独自性を生かしながらも、新市の一体感を確保し、さらには将来においても大仙市が夢のある田園交流都市であるためには、限られた財源を有効的に活用し、合併協議で作成いたしました「大仙市まちづくり計画」に掲載されました事務事業の必要性や優先順位、規模等を精査し、大仙市としての総合計画及び実施計画を早期に作成し、議会及び市民の皆様にお示しいたしたいと考えております。

厳しい財政見通しであります。議会議員各位並びに市民の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。招集の挨拶並びに諸般の報告とさせていただきます。